

議会だより しらおか Shiraoka



2 P 平成 29 年度一般会計予算

4 P 平成 29 年度特別会計予算

6 P 平成 28 年度一般会計補正予算・条例

8 P 一般質問

16P 審議結果

17P 一部事務組合予算

18P 君津市議会との友好交流協定締結

よろしく
お願いいたします

君津市役所

No.195

2017.5.1

新生涯学習施設

《3月定例会》

2月23日から3月17日までの23日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された議案33件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計予算

29年度一般会計予算規模は、白岡市史上最大の150億円で、前年度より3.4%の増となりました。

《平成29年度の主な事業》

- ★生涯学習施設整備の促進
- ★小・中学校のエアコン導入着手
- ★任期付市費負担教職員の任用
- ★こども医療費の拡充
- ★新たな民間認可保育所の整備支援
- ★西小学校に第二児童クラブ開設
- ★新白岡駅西口公衆トイレの整備
- ★ふるさと納税制度の強化
- ★新たな土地利用の検討・推進
- ★企業・大学との連携事業拡大

問 大山・菫莪地域活性化推進事業における人材育成の内容は。

答 地域活性化の施策提案事業と人材育成事業の2つがあり、人材育成事業は、大山・菫莪地区にお住まいの各20名を募集し、地域活性化に向けた人材育成の研修を行う。

問 防犯灯のLED化率の状況は。

答 29年2月末時点で17%である。

問 新白岡駅前に連絡所を開設する検討は。

答 要望があることは承知しているので、関係部署と協議し検討していく。

問 賃貸物件による保育所整備事業について、90人定員の保育所が開園とのことだが、待機児童の解消になるのか。

答 数字的にはゼロになるはずだが、新たな整備が潜在的需要を掘り起こしていることから、入所申請の増加が見込まれ、待機児童が発生する可能性がある。

問 シルバー人材センターは、助成金がなければ赤字であるが、解消のため何か方針は。

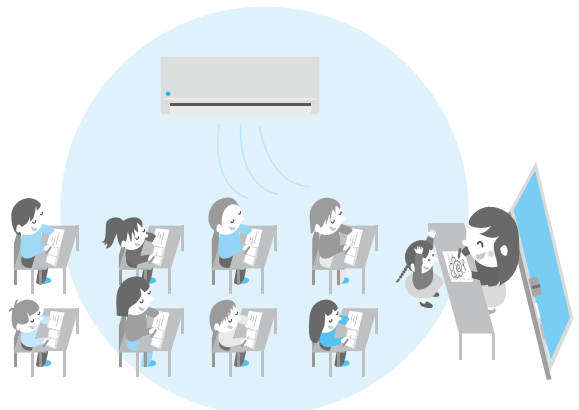
答 ほとんどが人件費であり、自助努力で売り上げを伸ばすよう指導している。

問 のりあい交通の収支率と利用者の状況は。

答 28年度は収支率18.3%、利用者8,881人、1日当たり33.3人である。

問 エアコン導入調査事業の具体的内容は。

答 導入する教室の検討、国の交付金などの活用方法、先行事例の調査・研究、導入手法の整理、概算工事費、導入後のランニングコストの試算などを実施する。



の建設進む



問 排水路等維持管理事業による事業内容は、

答 除草業務を年2回実施し、清掃は定期的
に実施しているが、苦情のあった場所につい
ては、優先して清掃している。

問 白岡駅西口地域整備推進事業は、どの程
度すすんでいるのか。

答 駅から市道5058号線までの間に、土地
と建物をあわせて21件ある。建物17棟のうち
1棟分について、用地買収と移転補償を実施し
た。

問 がん検診の受診率は、

答 26年度は、子宮がん検診31.1%、乳がん
検診32.5%で、おおむね県平均である。胃がん、
肺がん、大腸がんについては、県の平均受診
率より低い状況である。



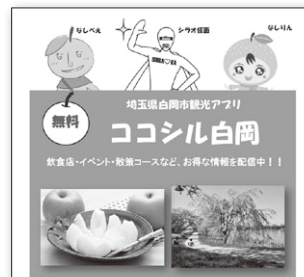
この次と言わずに、今こそがん検診

問 公債費は、前年度比で減少しているが、
市債残高は、28年度より増加に転じている。
今後の財政の見通しは、

答 市債については交付税措置があるかを判
断基準のひとつにしている。借り入れは、既に
発行済みの市債の償還額とのバランスなどを
考慮し、償還年数の設定、低利での借入れ償
還額の平準化を目的とした措置期間の調整な
どの工夫をしている。

問 商工観光アプリのその後の状況は、

答 登録数は51件となっている。件数増加の
ため、商工だよりを活用し、募集チラシを市内
の事業所向けに周知した。



問 耐震性のない住宅は何棟あるのか。

答 住宅・土地統計調査のデータを基に推計
すると9%で、約1,800棟である。

問 市税である個人税・法人税は前年度から
1億24万8千円の増額となったが、要因は、

答 個人税は、過去1年で納税義務者が500
人以上増加したことによる。法人税は、景気
の動向や市内企業の業績を予測し前年度より
増額した。

反対討論

学童保育所の新設や住宅・店舗リフォーム補
助など、評価できる施策もありますが、エネル
ギー、産業政策の充実など推進すべき課題も
残っています。また、同和対策事業は一般行
政に移行させるべきです。消費税10%への引き
上げについては反対すべきです。

賛成討論

雇用・所得環境の改善が続く中で、市税が
2億円強の増額となるなど明るい兆しがみられ
る一方、地方交付税や国庫支出金は減額となっ
ている。きびしい財政状況下ではあるが、市
のさらなる成長、発展をめざし、積極的に編
成された予算だと高く評価する。

特別会計予算

国民健康保険事業

本予算の総額は、60億4,345万8千円で対前年度比2.1%の増となっています。

歳入の主なものは、国民健康保険税、共同事業交付金、前期高齢者交付金です。

歳出の主なものは、保険給付費、後期高齢者支援金等、共同事業拠出金です。

問 生活習慣病重症化予防事業について、年何名くらいを予定しているのか。

答 28年度については、対象は20名、29年度も同程度を予定している。

後期高齢者医療事業

本予算の総額は、5億7,919万7千円で、対前年度比6.1%の増となっています。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料、繰入金です。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金、総務費です。

反対討論

埼玉県後期高齢者医療広域連合議会は昨年度からの平均保険料を若干引き下げましたが、高額な基金が残っています。さらに、制度の改悪もされています。後期高齢者医療制度は高齢者の医療費抑制を目的につくられたものであり、この制度は直ちに廃止すべきです。

賛成討論

後期高齢者医療制度については広く定着しているところです。高齢化の進展、医療費の増大からさらなる改善が望まれますが、本予算は制度にもとづき適切に積算されたものであり、賛成の意を表するものです。



介護保険事業

本予算の総額は、28億3,447万8千円で、対前年度比2.2%の増となっています。

歳入の主なものは、保険料、支払基金交付金、国庫支出金です。

歳出の主なものは、保険給付費、地域支援事業費、基金積立金です。

問 地域包括支援センターの委託が、変更になった要因は。

答 強化のため、公募型のプロポーザルをした。日勝地区は応募1法人、篠津・大山地区は3法人で、5名の選定委員が選定した。



反対討論

介護保険制度は幾たびか制度改定が行われてきましたが、現在の改正は軽度の支援者を制度から外す方向で進められています。さらに、介護現場での労働条件の改悪などで介護サービスも悪化しています。安心して介護を受けられる制度改善を国に求めるべきです。

賛成討論

高齢者やその家族に欠かせない介護保険制度として定着・普及し、本特別会計予算の歳入は法令にそったものとなっています。ほかにも介護予防事業や支援体制の経費などが適切に盛り込まれ、介護保険制度の趣旨にのっとり適正な見積りとなっているので賛成です。

農業集落排水事業

本予算の総額は、8,127万3千円で、対前年度比0.8%の増となっています。

歳入の主なものは、一般会計繰入金、使用料及び手数料です。

歳出の主なものは、公債費、維持管理費です。

問 一般会計からの繰入金は6,300万円近くになるが、使用料値上げの考えは。

答 今後、施設の老朽化や近隣市町の動向を踏まえ、検討していく。

反対討論

この事業は、農村部の生活環境を整備し、水質の悪化を食い止め、農業振興を図る事業です。それに、受益者負担金は課すべきではありません。また、使用料には消費税が外税方式で転嫁されており、消費税が10%になれば、利用者の負担は重くなります。

賛成討論

この事業は、農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、あわせて公共用水域の水質保全に寄与するものです。

本予算はきびしい財政状況のもと、農業集落排水処理施設を適正に維持管理するための予算となっており、賛成するものです。

公共下水道事業

本予算の総額は、10億1,648万円で、対前年度比18.4%の減です。

歳入の主なものは、一般会計繰入金、下水道使用料です。

歳出の主なものは、公債費、ポンプ場維持管理事業費です。



白岡第4中継ポンプ場

問 使用料の見直しをするべきでは。

答 27年度に値上げ改定をしている。公営企業会計への移行に合わせ、計画的に見直しを実施していく。

反対討論

この事業は、市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められています。しかし、都市計画税を納めているにもかかわらず、宅地面積で受益者負担金を課しており不当です。使用料には消費税が課せられており消費税引き上げで、利用者の負担は重くなります。

賛成討論

この公共下水道事業は、下水道の整備を図り、都市の健全な発達および公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資する事業です。公共下水道の整備促進を図る予算となっており、関係市民も早期整備を望んでいるもので賛成の意を表します。

野牛・高岩土地区画整理事業

本予算の総額は、1,043万5千円で対前年度比83.1%の減です。

歳入の主なものは、精算金、一般会計繰入金です。

歳出の主なものは、総務費、精算金です。

白岡駅東部中央土地区画整理事業

本予算の総額は、2億2,497万1千円で、対前年度比7.7%の減です。

歳入の主なものは、分担金及び負担金、一般会計繰入金、保留地処分金です。

歳出の主なものは、事業費、総務費です。

問 事業の完了見込みは、いつごろか。

答 26年度に事業計画の変更を行い、事業期間を平成40年度までとしており、完了に向けて鋭意努力する。

水道事業

本予算は、収益的収入額を11億7,070万6千円、収益的支出額を11億2,701万2千円とするものです。

資本的収入額は6,272万2千円、資本的支出額を5億129万9千円とするものです。

問 水質管理事業について、委託料が増額の理由は。

答 28年度は、実績額をもとに予算化した。29年度は、積算額を予算額としたために増額となった。

反対討論

水道事業は低料金で安定的に良質の水を供給しなければなりません。水道料金の消費税が内税方式から外税方式に変更されています。消費税は31年10月から10%に引き上げられようとしています。消費税の料金への転嫁には反対です。

賛成討論

水道事業は、市民に安全で安心できる水を安定して供給することが求められます。本予算は、健全経営のもととなる収益とともに、安定的な事業運営の費用や災害に強い水道施設の更新に係る費用などを見込み、適正な内容であることから、賛成の意を表します。

平成28年度 一般会計補正予算

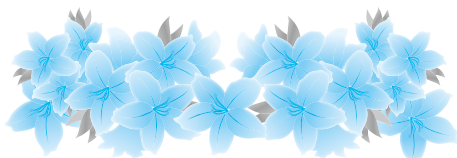
今回の補正予算は、予算総額から3億5,805万4千円を減額し、総額を145億3,775万2千円とするものです。

歳入の主なものは、財産収入、寄附金を増額し、繰入金、市債を減額するものです。

歳出の主なものは、民生費、教育費を増額し、総務費、土木費を減額するものです。

問 ふるさと納税事業は当初のほぼ倍となる。返礼品の欠品、納期遅れなどや寄附金受領証明書に関して、問い合わせ状況は。

答 寄附者からのクレームはない。返礼品の管理は、委託している専門事業者が返礼品の在庫状況をシステム化し、また、返礼品を取り扱う市内協力事業者の生産や処理能力を超えないよう、調整している。



条例

市の基本構想を策定することについて

第5次白岡市総合振興計画の新たな基本構想を策定するものです。

問 まちのにぎわい創出プロジェクトの白岡中学校周辺区域の開発にあたっては、白岡駅西口の開発と一体的な開発を考えているのか。

答 この区域は、白岡駅から近くにあるので、都市計画道路白岡駅西口線や駅前広場の整備などと一体的に検討を進めたいと考えている。

市行政評価委員会条例

市政運営の透明性を高め、市民の視点に立った行政評価の確立と推進を図るため、白岡市行政評価委員会を置くことにともない、新たに条例を制定するものです。

問 この行政評価委員会の役割は、市の職員が行った内部評価の結果を検証することか。

答 29年度は、行政評価制度を構築し、30年度以降については、市の内部で施策や事務事業などを評価して結果をこの行政評価委員会で評価していただく。

市空家等対策協議会条例

空家等対策の推進に関する特別措置法の規定にもとづき、空家等対策を総合的かつ計画的に推進する必要があることから、空家等対策計画の作成・変更・実施などについて協議する白岡市空家等対策協議会を置くため新たに条例を制定するものです。

問 委員には、専門知識が求められることになるが、構成はどう考えているのか。

答 法で明記されている市長のほか、行政区長、司法書士、宅地建物取引士、民生委員・児童委員、商工会、大学教員、公募に応じた方などを予定している。

市職員の育児休業等に関する 条例の一部改正

地方公務員の育児休業に関する法律の一部が改正されたことにともない、所定の改正を行うものです。

問 「特別養子縁組の監護期間中の子」と、「養子縁組里親に委託されている子」とはどのようなことか。

答 前者は民法に規定されている縁組を成立させる試行的な期間で里親になる前の準備期間、後者は養子縁組を前提として預けているものである。

税条例の一部改正

問 法人税割の税率を下げるとのことだが、税収に与える影響は。

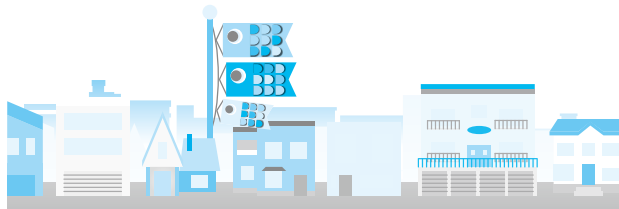
答 27年度決算の現年課税分に当てはめると8千万円弱の影響があると想定される。法人市民税の影響としては32年11月以降の申告納付からと思われる。

市在宅重度心身障害者手当 支給条例の一部改正

在宅重度心身障害者手当の支給制限施設に、児童福祉法に規定する障害児入所施設、乳児院、児童養護施設および指定発達支援医療機関を追加するものです。

問 制度改正により支給の対象外となる方は、他の制度などで支援を受けているのか。

答 この在宅重度心身障害者手当は市内の在宅の方に給付される手当である。対象外になる方については他の制度の施設利用などの支援を受けている。



市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備 及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準などが改正されたことにともない、一部を改正するものです。

問 この条例で対象となる施設は市内にいくつあるか。

答 5事業所である。

市指定地域密着型介護予防 サービスの事業の人員、設備及び 運営並びに指定地域密着型介護 予防サービスに係る介護予防のため の効果的な支援の方法に関する 基準を定める条例の一部改正

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準などが改正されたことにともない、一部を改正するものです。

問 運営推進会議の会議録の公表方法は。

答 サービス事業者のホームページなどで公開している。また、市や地域包括支援センターに会議録が送付されている。



市手数料条例の一部改正

都市の低炭素化の促進に関する法律及び建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の基準などの改正にともない、一部を改正するものです。

問 低炭素建築物とはどのようなものか。

答 省エネに配慮した断熱性、冷暖房、換気、LED照明、給湯器などを備えた建物である。

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

3月定例議会の一般質問は、14名の議員が41項目について行いました。

◆斎藤信治議員

- 空き家対策について
- 視覚障がい者の支援について
- 白岡市をスポーツのまちに
- 成人式の再考を

◆大倉秀夫議員

- 南小通学路の変更と市道舗装について
- 千駄野医院前の水路へ蓋かけ設置を
- 白岡駅東口ロータリー、タクシー駐車場の改善について

◆江原浩之議員

- 新たな産業団地建設について
- オータムフェス開催について

◆井上日出巳議員

- 施政方針について
- 篠津北東部地域における大規模農地利用事業について

◆鬼久保二郎議員

- 市道の維持管理について
- 災害に備えての庁舎の非常用電源について

◆細井 公議員

- 市街地における排水溝の整備について
- カーブミラーの管理について

◆菱沼あゆ美議員

- 「我が事・丸ごと」の地域ケアについて
- 防災・減災の取組について
- 高次脳機能障がい者の支援について

◆大島 勉議員

- 新白岡駅周辺の開発について
- 集会所の老朽化への対策は
- 地域福祉と地域コミュニティについて

◆渡辺聡一郎議員

- 市制の「みえる化」推進を
- 受動喫煙対策とタバコのポイ捨て防止を
- 圏央道と経済活性化について

◆石原富子議員

- 学童保育の指定管理移行について
- 公契約条例の策定について
- 市の材木利用の方針策定について

◆遠藤 誠議員

- 農家世帯状況調査票について
- 先の市長選への異議申し立てについて
- 監査の範囲拡大は
- 議員等の報酬改定について
- 市民活動センターについて
- 文化の市民ニーズについて

◆関口昌男議員

- 白岡市に働く労働者の労働環境等の改善を
- 学童保育所の指定管理者制度の導入について

◆高木隆三議員

- 食品ロスについて
- 介護離職ゼロへの取組について

◆黒須大一郎議員

- 窓口サービスの向上について
- 新たな子育て支援について
- 人材育成について
- 土地利用について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。

問 視覚障がい者の支援 拡充を

広報しらおかや議会だよりなどから情報を得ることは、市民が等しく持つ権利である。しかし、視覚障がい者は困難である。一方、点訳や音読サービスなどの利用者は少ない。支援を拡充するためにボランティアなどを積極的に支援することはできないか。

答 広報に掲載するなど 支援していく

ボランティアグループは、地域福祉の担い手であり、その活動内容などを広く市民の皆様に知っていただくことは、極めて重要であると認識している。今後も、社会福祉協議会の意見をききながら、広報しらおかに掲載するなど支援していきたい。



斎藤信治議員
(開白会)



音読サービス用機器

問 部活動支援でスポーツ のまちに

通学している中学校に希望する部活動がなく嘆いている生徒が多数いる。静岡県磐田市では、中学校の外に地域スポーツクラブ「磐田スポーツ部活」を創設し、希望する部活ができるようにした。当市でも実現し「スポーツのまち」にできないか。

答 部活動の在り方を工夫・ 改善していく

生徒の希望を叶えたい思いはあるが、地域スポーツクラブの実現には、練習場所や指導者、生徒の安全の確保が大きな課題となる。引き続き協力いただいている部活動ボランティアや地域のかたがたの力を借りながら、部活動の在り方を工夫・改善していく。



大倉秀夫議員
(白新会)

問 南小通学路の一部変更と市道舗装を

パークシティ西側の手押し信号付近から沖山踏切に向かう道路は道幅が狭く、手押し信号を横断する交差点の交通量も非常に多く危険性もある。大山商店脇から南小北側校内への直線道路に変更できないか。またこの道路は4m以上の市道なので舗装する予定はないか。

答 通学路の変更・道路舗装の予定はない

現行通学路は歩車道分離などの安全対策が講じられ、学校応援団・交通指導員の協力もあり、通学路を変更する段階にないと思う。道路整備は交通量や利便性を勘案し実施している。当該道路は交通量も少ないことから、現段階で舗装などの予定はない状況である。

問 千駄野医院前の水路へ蓋かけ設置を

千駄野医院前の道路は交通量が増え歩行者への危険も増している。近い将来に高速道路に高架橋が完成すると自動車の交通量もさらに増え、歩行者の危険性も考えられるので、この道路側の水路の上に蓋かけなどをして歩道として整備する予定はないか。

答 水路への蓋かけを検討していく

千駄野医院前の水路に沿った道路は、交通量が増加しており、南小学校と南中学校の通学路でもあることから、水路の蓋かけについては、今後、浸水対策整備と調整を図りながら、設置方法や施工時期などについて検討していく。



千駄野医院前水路



江原浩之議員
(隼人)

問 新たな産業団地建設は

白岡西部産業団地を造成したメリットは。県が進める産業基盤整備に、市としても協力し、新たな産業団地建設に取り組む考えは。また、皿沼地区の開発行為は、県主導なのか、民間主導なのか、その方針は。

答 地権者の皆様の意向を調査していく

白岡西部産業団地の造成により、税収の確保と地元雇用の促進などが図られた。市では、皿沼地区を総合振興計画基本構想に工業系産業誘導区域として位置付け、新たな産業団地の建設に向けて、埼玉県との意向も確認しながら検討していく。

問 オータムフェス開催を

昨年、農産物品評会と同時に農業祭が開催された。旧庁舎では、図書館祭りとコラボでシルバー祭りが開催された。それぞれの来客者数は。次に、はびすしらおか内の組織とその隣接する組織が連携し、11月を目途に各団体同時に、オータムフェスティバルの開催を。

答 各実施団体などへ協議を働きかける

各イベントでばらつきはあるが、おおむね1,000人から3,000人が来場している。目的や内容が共催にふさわしく、同時開催が可能と思われるものについては、各実施団体などで協議を行い、一つにまとめられるよう働きかけていく。



農業祭

問 市長の施政方針は

「魅力あるまちづくりの実現」のための施策として、新たな土地利用や生涯学習施設の整備、都市基盤整備などハード事業が多く述べられているが、少子化対策や働く女性（ママ）の子育て支援策、高齢者介護支援策などソフト事業のさらなる充実が重要と考えるが、

答 ソフト事業の充実にも積極的に取り組む

事業の実施にあたっては、市民のニーズにこたえられるようソフト事業とハード事業をバランス良く行うことが必要である。今後も、こども医療費の支給をはじめ、民間保育所の誘致や緊急サポート事業、介護予防・日常生活支援総合事業などに取り組んでいく。



井上日出巳議員
(創政会)



篠津北東部地域

問 篠津北東部地域の農地利用計画は

農業法人による大規模農地利用事業の計画があるが、実現の可能性はあるのか。また、交通の利便性が飛躍的に高まっている現状と、農振農用地域でありながら原野化している農地の現状を踏まえ、市はどのような農地(土地)利用を考えているのか。

答 開発の可能性を検討する

農業法人による農地利用の事業計画などを見る限りでは、実現はむずかしい。また、この地域の無秩序な開発を招かないよう、一体的な土地利用を図っていく必要があることから、市の発展に資する一定規模以上の開発の可能性について検討していく。

問 市道の維持管理を、今後どう考えるのか

宇都宮線蓮田市境の論証踏切と小久喜踏切の、東側の幅員約4mの市道は延長約300mの道路だが、近年春から秋にかけて線路敷地内から、フェンスから雑草が成長して全長の6割ぐらいの間を市道の半分ぐらいを占有し、近くの住民や利用者の苦慮をどう考えるか。

答 今後も状況に応じた維持管理に努める

線路敷地の管理者であるJR東日本に対して除草依頼を行っているが、改めて現状を説明するとともに、線路敷地内の計画的かつ状況に応じた除草について申し入れを行い、通行を阻害しないよう道路の維持管理に努めていく。



鬼久保二郎議員
(市民クラブ)



庁舎の非常用電源

問 災害に備えての庁舎の非常用電源対策は

災害発生後、72時間を過ぎると人命の生存率が大きく下がるとされている。内閣府は人命救助などを効果的に行えるよう各市町村に、72時間対応できる非常用電源設置を求めている。現状と今後の対応と計画、考えを伺う。

答 財源確保とあわせて更新を検討していく

本庁舎の非常用電源は490リットルの燃料タンクを備えており、おおむね10時間の連続運転が可能である。設置から24年が経過し経年劣化も進んでおり、更新の時期と認識しているが、更新には多額の整備費用が見込まれるため、財源確保とあわせて検討していく。



細井 公議員
(白新会)

問 市街地における排水溝の整備を

市内の各所において、道路と排水溝に段差があったり、排水溝の蓋が整備されていないために歩行者の安全が確保されているとはいえない道路がある。安全な排水溝の整備をすることで市民の安全が確保されると考えるが、改修についての具体策を伺う。

答 状況に応じて対応していく

道路パトロールなどにより発見された道路の穴や段差の危険箇所について、軽微なものは速やかに補修するとともに、対応がむずかしい場合は補修工事により実施している。今後もパトロールを実施し、危険性など現地の状況に応じた対応に努める。

問 カーブミラーの管理は

市内各所に設置されているカーブミラーについて、車両の衝突によって角度が変わったり、経年劣化によってミラーが確認しにくくなったものが散見される。こうした視認性が低下したカーブミラーについて、市としてどのように対応しているか伺う。

答 早期発見に努め対応する

道路パトロールや通報などにより早期発見に努めている。軽微なものは、その場で対応している。また、老朽化や劣化および破損などによる場合は、専門業者により交換工事に対応している。



市内の道路



菱沼あゆ美議員
(公明党)

問 多様な人が参加できる防災を

防災訓練には子どもや学生が参加しにくい。ゲームや競技を取り入れてはどうか。また、障がい者も参加出来るよう実施すべきでは。障がい者や外国人との会話を助ける文字と絵を入れたコミュニケーション支援ボードを、避難所に配備してはどうか。

答 訓練内容や避難所の対応を見直していく

防災訓練の内容については毎年度見直しを図っており、今後も多様な方が参加しやすい訓練となるよう努める。避難所での障がい者や外国人の方とのコミュニケーションについては、他の自治体の事例を参考にしながら有効な方法を検討していく。

問 高次脳機能障がい者の支援は

高次脳機能障がいは、交通事故や病気で脳が損傷したことで起こる後遺障害である。さまざまな症状があるが、外見からは分かりにくい。市内には何名いるか。相談や支援体制はどうしているか。また、市民への周知や啓発が必要と考えるが、いかがか。

答 適切な支援や、周知・啓発に努める

高次脳機能障害と確認できた方は5名で、適宜状況に応じた各種福祉サービスの紹介や専門機関を紹介するなど、関係機関と連携しながら支援に努めている。今後、高次脳機能障害を含め、障がいの特性などの理解が深まるよう、機会をとらえて周知・啓発に努める。



問 新白岡駅周辺の開発は

新白岡駅は開業以来30年を迎え、1日約7千人の利用実績のある駅となった。近隣住民から駅に関する要望がいくつか上がっているが、その中で、駅前中央広場の再整備事業の進捗状況はどうか。

また、東西口の駅前道路の延伸についてどのような状況か伺う。

答 駅周辺の利便性向上に努める

駅前広場の利用状況など調査し設計を実施した。今後は警察などとの協議を実施し、駅利用者の利便性向上に向け再整備を進めていく。駅前道路の延伸は、残る都市計画道路の事業化を検討し、それらの状況などを勘案しながら具体化への検討を進めていく。



大島 勉 議員
(創政会)



新白岡駅

問 地域福祉と地域コミュニティの今後

当市の地域福祉計画は、福祉課題の解決に取り組み、「誰もが安心して暮らせるまち」の実現を目指すところがあるが、策定から1年経って現状どのように進んでいるか。また、今後の具体的な取組について伺う。

答 社協との連携を図り推進していく

本計画の特集を広報に掲載し、市民へ周知したほか、民生委員・児童委員へ配布、説明した。今後、地域福祉の重要な担い手である民生委員・児童委員の活動を市民へ周知するとともに、さまざまな地域活動を展開している社会福祉協議会との連携を図り推進していく。

問 「市政のみえる化」の推進を

行政評価制度を導入し、まちづくりを客観的に評価するとともに、その結果を公開してはどうか。ホームページの運営が各課で縦割りになっており利用者目線の発信になっていない。全体をマネジメントする視点が必要では。またスマホ対応など更なる利便性向上は、

答 わかりやすい市政情報の発信に努める

行政評価制度を導入し、外部評価を実施するとともに、その結果を広報しらおかなどにおいて積極的に公表していく。また、所管をこえた関連情報へのリンクやスマートフォン対応ページの導入に向けた検討など、公式ホームページの利便性の向上に努める。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



柴山沼

問 圏央道を活かした地域活性化を

圏央道の成田方面の開通を契機に企業誘致の期待が高まる。企業誘致と地域活性化を結び付ける視点が重要だ。雇用を生みやすい製造業や地元産業と連携しやすい食品加工企業などにターゲットを定めた戦略が必要では。またグリーンツーリズムなどの観光政策は、

答 人と企業を呼び込む活動を展開していく

市では、この機会をとらえて、今まで以上に人と企業を呼び込む活動を展開していく。市をあげて企業を誘致することで、税収増加、若者や女性、高齢者などの雇用創出につなげたい。また、既存企業と進出企業の連携を取り持ち、本市の産業力向上を図っていく。



石原富子議員
(開白会)

問 学童保育の指定管理に期待する

学童保育は放課後を安心して託せる場だが、現在は臨時職員のみで子どもとかわっている。責任の所在、危機管理、支援員の働き方など多くの課題がある。指定管理に移行することで何が変わるのか。また多額の税金の投入になるが保護者の負担は増えるのか。

答 常勤職員を配置し保育の質を高める

各学童保育所に常勤職員を配置し、市職員と緊密な連携を通し、責任所在、危機管理や支援員の処遇などの課題に取り組み、質の高いサービス提供を図る。学童保育料は値上げをせず、民間企業のノウハウを生かしたサービス向上を図る。

問 公契約条例を制定すべきではないか

公契約は往々にして安ければよいという風潮があるが、その陰で多くの下請け、孫請け業者の賃金がダンピングされ「官製ワーキングプア」まで招いている。越谷市をならい、条例を制定し、市内の業者が安心して仕事ができる環境づくりをすべきではないか。

答 国、県、近隣市町村の動向を注視

公契約条例の制定については、国、地方自治体、関係業界、労働団体などが一体となって取り組んでいくものと考えている。今後の国における法の整備、また、埼玉県ならびに近隣市町の動向を注視しながら、市としても調査・研究を進めたいと考えている。



遠藤 誠 議員
(無所属)

問 監査対象を補助金で購入した物品までに

補助金を受けた団体の経理、補助金で購入した物品の管理や使用状況についても、監査の範囲を拡大すべきではないか。市以外の補助も受けられる団体にしていくべきである。こうした実績を監査報告にも掲載すべきではないか。

答 可能な範囲から実施していく

補助金などの交付に関する監査については、26年度の定例監査において、補助金の交付元となる市を対象に実施したところである。補助金などを交付している団体に対する監査については、監査項目や実施方法などを検討し、可能な範囲から実施していく。

問 文化について市民ニーズをよく考えて

市内カルチャースクールや近隣のカルチャースクールのプログラムの多様さと、市の提供できるプログラムは大分ちがう。役割分担してもよいが目配りが必要ではないか。

答 まちづくりにつながる生涯学習を推進

市の歴史や伝統・文化、芸術を中心に、市民のニーズにあった講座を提供することで、学びのきっかけや仲間づくりを支援する。さらに、学んだ成果を他者に還元してもらい、学びの循環を地域に作り出すことにより、将来のまちづくりにつなげていきたい。



問**学童保育所の指定管理者制度の導入は**

指定管理者制度導入に当たっては、国や県の補助制度を活用して、より良い制度とすべきである。具体的には、すべての学童保育所に常勤の職員を配置し、さらに全体のまとめをする者を置くべきだ。また、現在働いている職員については継続雇用を図るべきだ。

答**導入後は今以上の運営体制整備に努める**

指定管理者制度の導入後も、引き続き国や県の補助制度の積極的な活用に努めたい。すべての学童保育所に常勤職員を配置するとともに、現在の放課後児童支援員が継続雇用されるよう対応する。指定管理者と連携を密にし、質の高い学童保育の提供体制に努める。



関口昌男 議員
(日本共産党)

問**市職員の労働環境の改善を**

職員の労働時間の管理について、上限制限などを定めて管理を行っているか。また、残業時間の多い職場はどこか。定年退職後の職員の再任用についてどのような内容になっているか。臨時職員の処遇は同一労働同一賃金にすべきだが通勤手当などの改善は図れるか。

答**国などの動向を見て改善していく**

労働時間の上限は定めていないが適正に管理している。残業時間が多いのは、短期間に集中する選挙事務などである。再任用は週3日勤務であったが、週5日勤務も可能とした。臨時職員の待遇は、国・埼玉県などの動向を見て労働環境の改善に努めていく。

問**食品ロス削減の取組を**

国連は30年までに、世界の一人当たり食品廃棄物を半減させる目標を採択した。先進自治体では対策が行われている。①教育施設など啓発を進めるべきである。②市民と事業者が一体となった取組は。③災害備蓄食品をフードバンクなどへの寄附を検討してはどうか。

答**食品ロスの削減に取り組んでいく**

①教育施設などにおいては、引き続き、現在の取組を進めていく。②県、蓮田白岡衛生組合、商工会、女子栄養大学などと連携し啓発する。③期限切れ食糧の発生度合いに応じ、フードバンクの活用も検討する。



高木隆三 議員
(公明党)

問**介護離職対策にSOSサービス事業を**

家族の介護のために離職する人が、毎年10万人に及んでいる。①当市における介護離職の実態は。②当市の取組と家族や事業主への情報提供は。また課題はなにか。高崎市は離職ゼロを目指し「介護SOSサービス事業」を開始した。当市において導入してはどうか。

答**介護サービスなどを工夫して対応する**

①1月末現在の調査では、5.8%の介護離職率である。②市では入所施設の整備や在宅サービスの充実、地域包括支援センターとともに市民などへの情報提供に取り組んでいるが、介護認定者以外への周知が課題である。今後も、既存のサービスを工夫して対応する。



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 結婚・出産・子育てを
かなえるために

妊産婦にとって優しいとは言えない市の交通環境を補う施策として、マタニティタクシー利用料金補助事業はどうか。さらに駅周辺の市有地などを利用して、国とともに宅配ボックス設置補助事業を進め、横並びではない、優しく便利なまちづくりを進めては。

答 事業実施の可能性について探っていく

妊娠期からの子育て支援策については、市の子ども・子育て支援事業計画や健康増進計画にもとづき、順次取り組む。

マタニティタクシー券および宅配ボックス設置補助事業については、今後、調査・研究を進めていく。

問 市発展の要、篠津北東部に鋭意努力して

篠津北東部の土地利用については、地域と市が積極的な協働作業が必要と17年8月のワークショップで報告している。さらに25年3月議会で、関係権利者の意見に耳を傾け、鋭意努力すると答弁があった。これまでの努力とは何か。今後、どう協働作業するのか。

答 事業進展の可能性を検討していく

市では、埼玉県と意見交換を行いながら、本市における土地利用の可能性を図ってきたところである。今後は、土地利用関係法令、地権者の意向状況、市全体の土地利用のバランスなどを考えながら、事業進展の可能性を検討していく。



白岡市

議員研修報告

議会で
「ふれあいの森公園
運動広場」を視察



ふれあいの森公園を視察



3月定例会最終日、議会で市役所の北側にあるふれあいの森公園運動広場を視察しました。

この運動広場は、(仮称)白岡市生涯学習施設を千駄野運動広場に建設することから、千駄野運動広場のグラウンド機能をふれあいの森公園内の多目的広場に移したものです。

工期は28年5月6日から同9月16日までで、面積は2,542㎡です。

この運動広場を整備したことにより、住民の皆さまに以前と変わりなく利用していただけることが期待されます。



《3月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席)

議席番号・議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
件名		井上日出巳	渡辺聡一郎	関口昌男	齋藤信治	松本栄一	細井公勉	大島勉	遠藤誠	黒須大一郎	大高馨	鬼久保二郎	野口克博	石原富子	大倉秀夫	江原浩之	菱沼あゆ美	高木隆三	藤井栄一郎		
基本構想の策定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
行政評価委員会条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
空家等対策協議会条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
個人情報保護条例及び情報公開・個人情報保護審議会条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
税条例等の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
相互救済事業の委託		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
市道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
平成28年度	一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
平成29年度	一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	農業集落排水事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	公共下水道事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
水道事業会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	

※ 18番 藤井栄一郎議員は議長のため、採決には加わっていません。

蓮田白岡衛生組合予算

29年度の予算総額は、15億8,152万6千円で、対前年度比5.3%の減です。

歳入の主なものは、両市が負担する分担金及び負担金で全体の70.4%を占め、白岡市の負担は5億1,784万4千円（蓮田市は5億9,534万7千円）です。次いで使用料及び手数料が22.6%です。

歳出の主なものは、衛生費（ごみ・し尿の処理にかかる経費）で全体の71.3%を占め、次いで総務費（事務的経費）が21.2%です。



蓮田白岡衛生組合リサイクルプラザ

埼玉東部消防組合予算

埼玉東部消防組合は、加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町で構成されています。

29年度の予算総額は、64億1,793万1千円で、対前年度比4.6%の減です。

歳入の主なものは、負担金で、白岡市の負担金は6億5,574万3千円、全体の負担金に占める割合は10.4%です。

歳出の主なものは、消防費、公債費です。



支援車

埼玉葛斎場組合予算

埼玉葛斎場組合は、春日部市、蓮田市、白岡市、杉戸町で構成されています。

29年度の予算総額は、4億6,087万2千円で、対前年度比11%の減です。

歳入の主なものは、負担金で、白岡市の負担金は3,984万3千円、全体の負担金に占める割合は、12.7%です。次いで使用料です。

歳出の主なものは、公債費、総務費、事業費です。





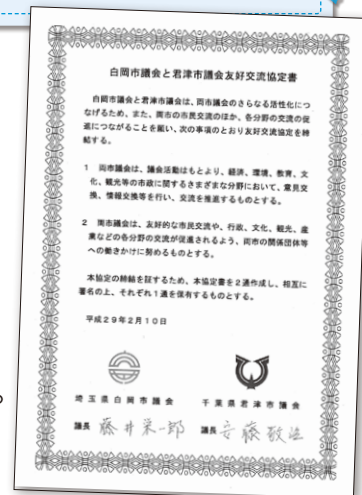
白岡市議会と君津市議会の友好交流協定

白岡市と千葉県君津市は、江戸時代中期の儒学者・政治家である新井白石が双方にゆかりのある人物であることから、新井白石について研究を進める両市市民の交流が盛んに行われています。

また、26年第3回君津市議会定例会において、「君津市が白岡市と友好親善都市協定を結び、心温まる交流が続けられることを願う請願書」が全会一致で採択されました。

このような背景から、新井白石生誕の日である2月10日(金)に、君津市において「君津市議会と白岡市議会友好交流協定」を締結しました。

今後、両市議会は、議会活動はもとより、さまざまな分野において交流を推進していく予定です。



議会日誌

2月

- 1日 埼玉葛斎場組合議会の定例議会
- 17日 議会運営委員会
- 23日 第1回議会定例会
- 27日 第1回議会定例会
- 28日 第1回議会定例会

3月

- 2日 第1回議会定例会
議会広報常任委員会
- 6日 文教厚生常任委員会
- 7日 産業建設常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 13日 総務常任委員会
- 15日 市内中学校卒業式
埼玉東部消防組合議会の定例議会
- 17日 第1回議会定例会
- 22日 埼玉東部消防組合議会の定例議会
- 23日 市内小学校卒業式
- 28日 議会広報常任委員会
- 29日 蓮田白岡衛生組合議会の定例議会

4月

- 4日 議会広報常任委員会
- 10日 市内小中学校入学式
- 13日 県第4区議長会の定期総会
- 19日 県市議会議長会の定期総会
- 25日 関東市議会議長会の定期総会
- 27日 全員協議会

議会では議会改革をすすめています!

28年度の議会改革・活性化等検討委員会にて検討し協議した結果、以下の項目について決定しました。

- 一般質問の質問時間を1人45分間とする。
- 一般質問を1日6人までとし、12人を超えた場合は3日とする。
- タブレットの導入を検討していく。

今後もよりよい議会を目指し、議会改革をすすめていきます!

3月定例議会傍聴者数

市内 59名 市外 13名 合計 72名

次回の定例会は
6月1日(木)開会予定です。

編集後記

市民の皆さんには、日ごろより議会だよりにより目を通していただきありがとうございます。

皆さんから、「議会だより見てるよ、がんばって」と声をかけられることもあり、広報の大事さをあらためて感じています。

これからも、皆さんに愛され、読んでいただける「議会だより」をめざし取り組んでいきます。(大島)